



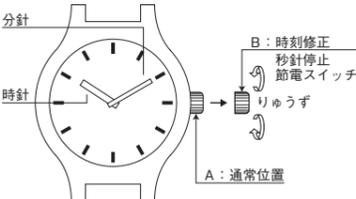
この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になられます。また、お買い上げ商品にない機能が載ってありましたらその箇所は省いてご利用ください。

### ●針の合わせ方

あらかじめ秒針を0秒に合わせ、分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆に戻して合わせ、時報と同時にリゅうずを押し込むと正確な時刻に合わせられます。この時、分針が若干動くことがあります。故障ではありません。  
(時報サービス117番で合わせると便利です。)

※二針の時計は秒針がありません。時報に合わせてリゅうずを押し込むと時計が分単位で動きます。時刻合わせ終了後、時計が動いていることをご確認ください。

### 二針の時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。  
※リゅうずをA (通常位置) まで押し込んだ後、時計が動いていることをご確認ください。

### 三針の時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

### 日付のついている時計



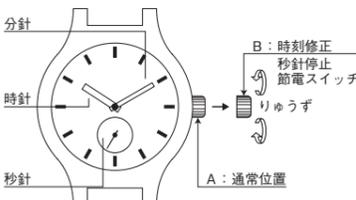
#### ●時刻・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置に戻し、左に回して日付を合わせてください。
- 日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時〜午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

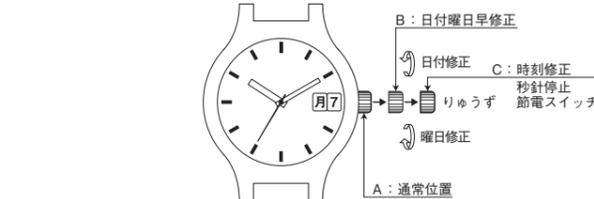
### 小秒針付き時計



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 針合わせが終わりましたらリゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

### 曜日・日付のついている時計



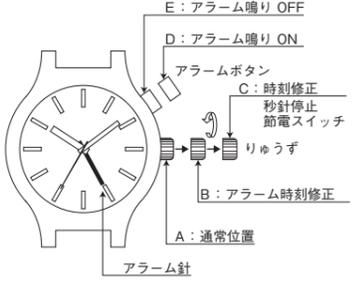
#### ●時刻・曜日・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置に戻し、右に回して曜日を修正、左に回して日付を合わせてください。
- 曜日・日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時〜午前4時30分までは曜日・日付の修正はしないでください。曜日、日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。曜日、日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

### アラーム付時計



#### ●アラーム時刻の合わせ方

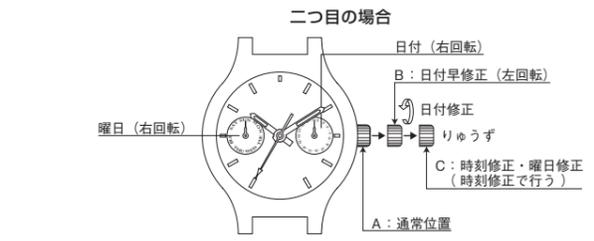
- リゅうずをB (1段引き) の位置まで引き出してアラーム針をアラーム時刻に合わせてください。
- 針合わせが終わりましたらリゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。時計がスタートします。

#### ●アラーム鳴りのON/OFF

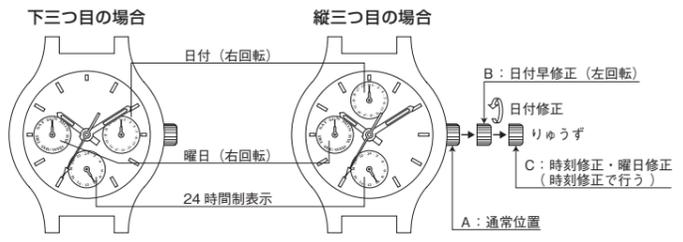
- アラーム鳴りをONにする場合は、アラームボタンをD (1段引き) の位置まで引き出してください。

- アラーム鳴りをOFFにする場合は、アラームボタンをE (通常位置) まで押し込んでください。
- アラームは1回15秒間鳴ります。アラームボタンをE (通常位置) まで戻さない場合は、3分毎にくりかえし数回鳴りつづけます。

### 多針時計



※三つ目は2種類の機種がありますが、三つ目の位置が違うのみで、機能・操作は同じです。

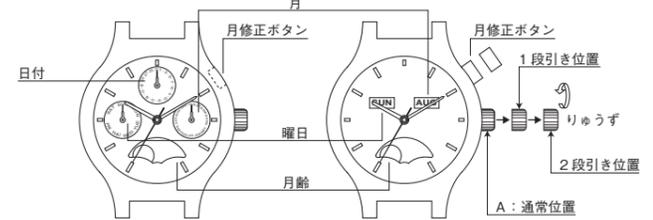


#### ●時刻・曜日・日付の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出し、リゅうずを回して曜日を合わせてください。午前12時〜午前4時30分の間に曜日針は動きます。曜日針が本日の曜日を指すまで回してください。
- 曜日が合いましたら、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 曜日・時刻が合いましたら、リゅうずをB (1段引き) の位置にしてリゅうずを回して日付針が本日の日付を指すまで回してください。
- すべての針合わせが済みましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

午後9時〜午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

### ムーンフェイス時計



#### ●曜日の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し、右に回して曜日を修正をしてください。リゅうずを左回転(時・分針を反時計方向に回転)させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午前12時〜午前5時30分までは曜日の修正はしないでください。曜日は午前12時〜午前5時30分前後頃までには切り替わります。

#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずを通常位置まで押し込んでください。時計がスタートします。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

#### ●日付の合わせ方

- リゅうずを1段引き位置に引き出し、左に回して日付を修正をしてください。リゅうずを左回転(時・分針を反時計方向に回転)させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午後9時〜午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

#### ●月の合わせ方

- 月修正ボタンを1回押す毎に、1ヶ月づつ月針が時計方向に動きます。またボタンを押し切らないと月が切り替わらないことがあるため、ボタンをきちんと押しつけて修正してください。

※日針が30〜31日の間を示すときは月の修正をさけてください。翌月になっても月が切り替わらないことや、月の修正ができないことがあります。この期間は、日針を30〜31日の範囲外にして月修正を行ってください。この後で日針をセットし直してください。

#### ●月齢の合わせ方

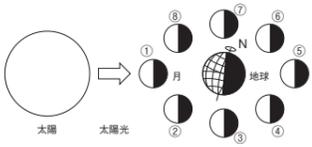
※この月齢表示は、月齢を表示したもので月そのものの形を表示したものではありません。  
※月齢表示は、月齢の目安としてご利用ください。従って月齢合わせも目安で行ってください。



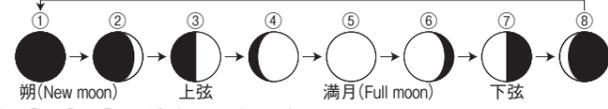
- 当月の月齢を確認します。今日または明日の月齢を新聞・インターネットなどで調べます。明日の月齢を見た場合は1日分引きます。
- 月齢合わせ [例: 月齢4.4]  
リゅうずを1段引き位置まで引き出して、月マークを時計方向に回転させ月マークの中心方向が月齢目盛りのおおよそ4.4を示す位置に合わせてください。

#### ●月齢とは

- 月の満ち欠け(月の位相)  
月の満ち欠けは地球から見た太陽と月の位置関係によって変化します。右図において月が①の位置にあるとき(月が太陽と同じ方向にあるとき)は、地球から見て月は背後から照らされています。この状態を新月(朔)と呼びます。



そこで月はそれぞれの位置によって、下図のようになって見えます。



- 月齢とは…朔(New moon)から経過した時間を1日単位で表したもので、朔(New moon)から次の朔(New moon)までの平均周期は、約29.5日に相当します。

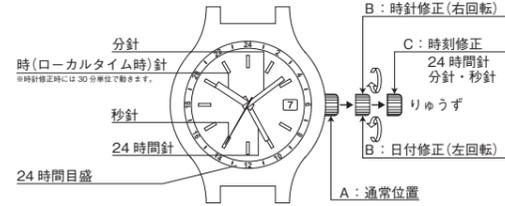
#### ●月齢の見方(表示例) …月齢表示から潮の大小が読み取れます。

朔(New moon) ①月齢0(大潮)	上弦 ③月齢約7(小潮)	満月(Full moon) ⑤月齢15(大潮)	下弦 ⑦月齢約22(小潮)

※この時計の月齢をより正確に合わせたいときは、朔(New moon)【月マークが全く見えない状態…月齢0】または、満月(Full moon)【月が真上(12時方向)にある状態…月齢15】のときに合わせることをおすすめいたします。

### デュアルタイムウォッチ

2つの時刻を同時表示できるデュアルタイム機能を搭載したアナログクォーツウォッチです。



#### ●時刻の合わせ方

- リゅうずをC (2段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを回して24時間針と分針を現在時刻に合わせます。この時、24時間針に合わせて時針も連動します。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。
- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを右に回して時針を現在時刻に合わせます。時針は時計回りに+30分ずつ修正できます。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

#### ●日付の合わせ方

- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを左に回して日付を合わせます。
- 日付が合いましたら、リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。日付は時針に連動していますので、時針が午前12時頃になると日付が変わります。デュアルタイムウォッチとしてご使用の場合にはご注意ください。

午後9時〜午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後 { 午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。  
の区分 { 午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

#### ●デュアルタイムウォッチとしての使い方

この時計は、時計を止めずに時針だけを単独に修正することができます。24時間針と時針の時刻を異なる時刻に合わせることで、デュアルタイムウォッチとして使用することができます。時刻修正後は、時針を「ローカルタイム時」として読み取ります。



- リゅうずをB (1段引き) の位置に引き出します。
- リゅうずを右に回して時針を合わせたい時刻に合わせます。時針は時計回りに+30分ずつ修正できます。午前と午後に注意して時針を合わせてください。
- リゅうずをA (通常位置) まで押し込んでください。

時針は反時計方向には修正できません。また、日付は時針に連動していますので、時針を合わせた時間によっては、時針修正後に日付の修正が必要な場合があります。